

今年の未来座は2本立て!

童話「ピノキオ」が日本舞踊に! 語りには坂東巳之助!!

人間国宝の井上八千代も出演する日本の四季を表現した、「春夏秋冬」
日本舞踊の“伝統”と“革新”を表現する、まさに彩り豊かな2作品!

第3回日本舞踊未来座 =彩(SAI)= 限定プレミア企画開催決定!!

松本幸四郎直伝! 日本舞踊ワークショップが 4月27日(土)緊急開催!!



日本舞踊の継承と革新をめざし、新作日本舞踊を発表する日本舞踊 未来座シリーズ第三弾「第3回日本舞踊未来座=彩(SAI)=」を2019年6月上演致します。

2017年、日本舞踊への固定概念を打破すべく、日本舞踊協会のメンバーが十世 坂東三津五郎の遺志を継ぎ、“未来座”と銘打ち、新たなシリーズを立ち上げました。

2017年の第一回公演では“水”をテーマに4つの演目を上演。古典楽器による音楽に、現代語の唄で〈永遠の愛〉を問う「水ものがたり」、女流舞踊家五人衆が艶やかな俚奏楽にのせて、名舞台の一瞬を日本舞踊独特の素踊り形式の新演出で作られた「女人角田〜たゆたふ〜」、踊り手たちが猫に扮し、津軽三味線・上妻宏光の音楽で踊った「当世うき世猫」、市川染五郎が演出・振付・出演という一人で三役担い、“はにわオールスターズ”の仙波清彦氏による音楽で激しく踊った「櫓くすぐり」。それぞれ水の流れと、過去・現在・未来という時の流れに愛、女性、共感、命などを重ね合わせ、現代の私たちに共通するテーマで、今まで日本舞踊に親しみのなかった方にもわかりやすく表現され、大きな反響を得ました。

2018年の第二回公演でSAIが象徴するワードは“裁”、世界的オペラ「カルメン」を題材に、様々な運命に裁かれながら生きる女と男を描きました。実力派の花柳寿楽、水木佑歌に、若くして注目を集める四代目 中村橋之助、市川ぼたんがダブルキャストを務め、日本舞踊の伝統をつなぎながら、“いま”こそ輝き、そして“未来”へと光を放つ継承と革新を現す、ファムファタルの妖艶な世界を表現しました。

第三回となる2019年の日本舞踊 未来座“彩”は趣の異なる2本立てでお届けします。1作目は「檜男=びのきお=」、誰もがご存知のピノキオの物語が新作舞踊でよみがえります。メルヘンチックな世界と奇想天外なストーリーで子供から大人まで楽しめる舞踊ファンタジー。語りは歌舞伎俳優としても活躍中の坂東巳之助が勤め、若手花形から熟練のベテランまで個性豊かな舞踊家たちが新たなピノキオに命を吹き込みます。

そして、古来より日本人の心に大切に受け継がれてきた四季をテーマに、舞と踊りで綴る舞踊絵巻「春夏秋冬」。日本舞踊の持つ華麗さ、力強さ、荘厳さを群舞と京舞で余すところ無くお見せいたします。

日本舞踊未来座に初出演の人間国宝 井上八千代に加え、新進気鋭の舞踊家たちによる圧巻の舞台をお楽しみください。充実のキャスト・スタッフでお届けする第3回日本舞踊未来座“彩”にご期待ください。

公演を記念し、老舗・玉ひでにて4月27日(土)、未来座立ち上げメンバーで、日本舞踊協会理事の松本幸四郎による日本舞踊鑑賞と日本舞踊ワークショップを実施することが緊急決定しました!

幸四郎から直々に日本舞踊についてレクチャーを受けることができ、しかも至近距離から舞踊を鑑賞することができるなんとも贅沢なワークショップです。さらに終了後には幸四郎と一緒に全員での記念撮影付き。

売り切れ必至の各回30名のプレミアムチケット、皆様お買い逃がしなく!